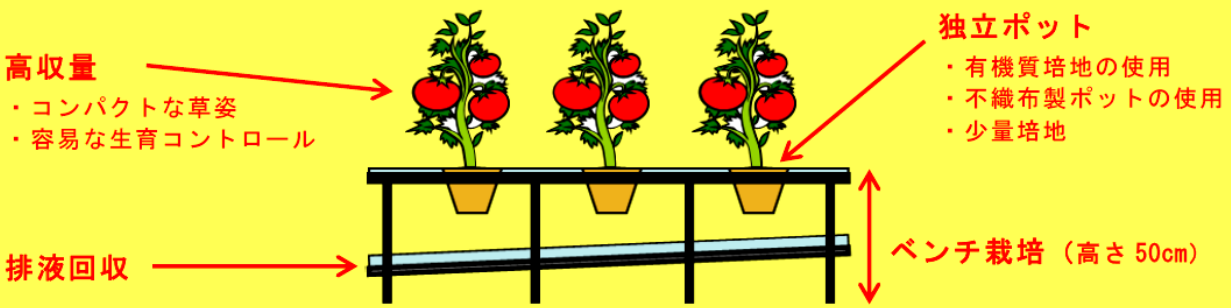
≪トマト独立ポット耕栽培システムとは≫

≪特徴≫

- 岐阜県農業技術センターが開発した技術です。
- 独立したポットで、養液栽培（制御装置による自動給液）によりトマトを生産します。
- 高収量のため、経営の安定化を図ることができます。
  【 収穫量：30t/10a 】（通常の土耕栽培の平均は約 20t/10a）
- 栽培方法がマニュアル化されていて、栽培技術の習得が容易です。
- 独立ポットのため、土壌消毒の必要がなく、肥料の流出が少ないなど環境に優しい。
- 病害が発生した場合も、ポットが独立しているため、病害の拡大を防ぐことができます。
- 収穫位置が高くなり、作業姿勢に無理がありません。

≪トマト独立ポット耕栽培システム≫



人に優しい
- 収穫位置が高くなり、作業姿勢が改善される
- 多収量のため経営が安定

環境に優しい
- 培地量が少なく省資源
- 肥料の流出が少ない
- 土壌消毒の必要がない

トマトに優しい
- 病原菌の侵入を抑制できる
- 病害の拡大を抑制できる
- 生育促進が可能

≪独立ポット≫

≪収穫作業姿勢の比較≫

ポット耕栽培

土壌栽培